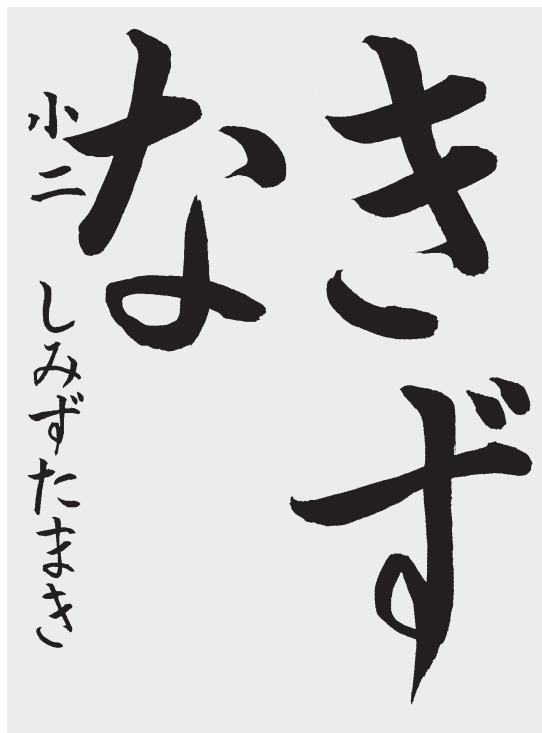


〔3月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

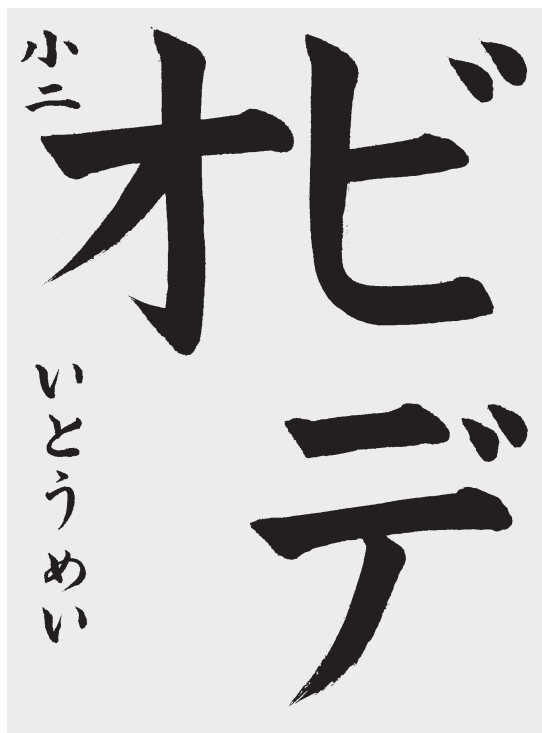


石井明子先生

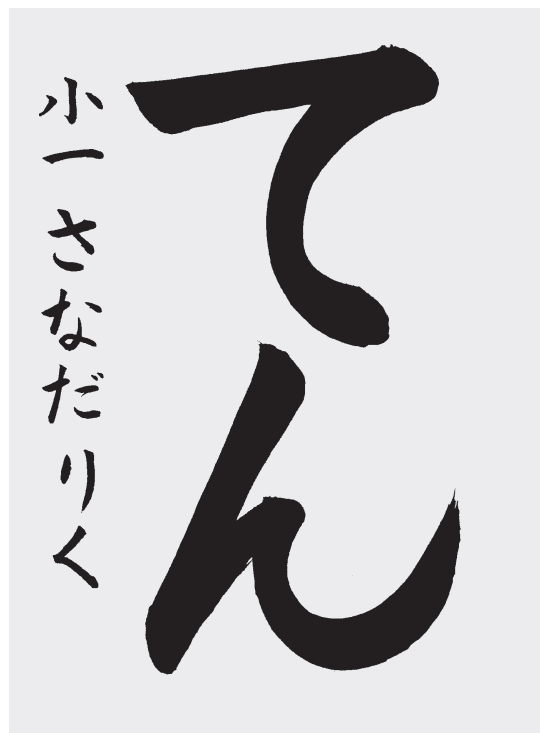
幼・小学1年参考手本



加瀬澄春先生



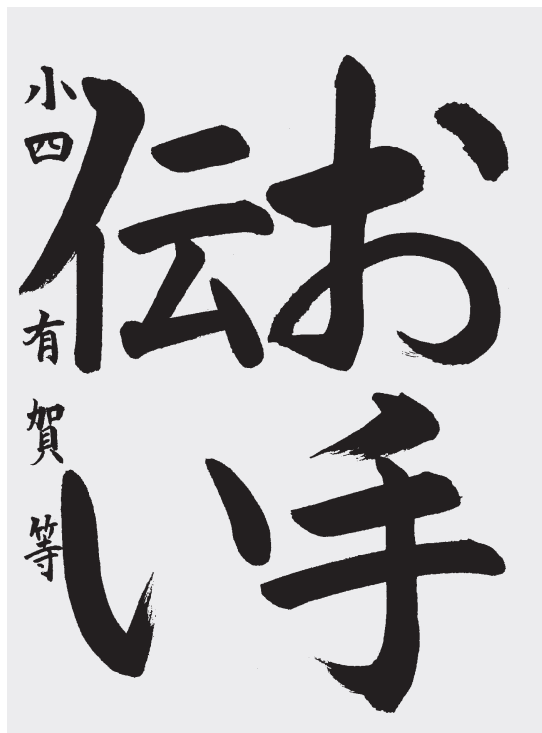
大町青蓮先生



大平邑峰先生

〔3月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



種谷 萬城 先生

小学3年参考手本



恒次 鶴城 先生



小川 弘舟 先生



名越 蒼竹 先生

〔3月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

小六
森 勇
希望の花

広瀬舟雲先生

小六
木下綾
平和運動

坂本素雪先生

小学5年参考手本

小五
山本健太
約束

板垣洞仙先生

小五
中村千春
周囲

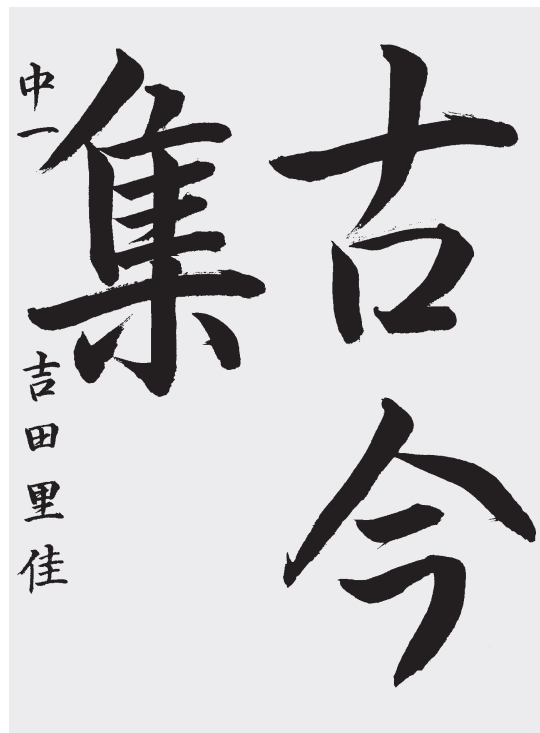
田中扇溪先生

〔3月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

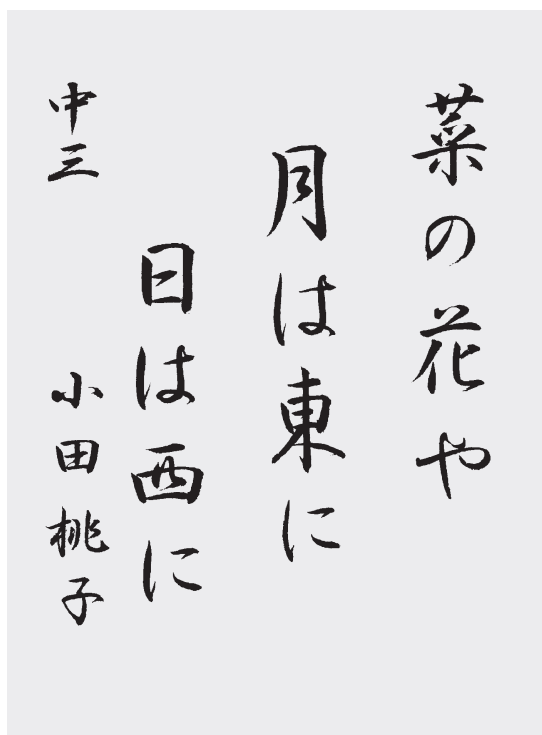
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



尾形澄神先生



崎井恵風先生



小竹石雲先生



辻元大雲先生

毛筆參考手本解説(1)

1
年

3
年

4
年

5
年

ちゅうしん
中心

つながる気もち
あける

① ② ③

《じげん》

ちゅうしん
中心
ん花
とめる
とめる
とめる

中心

手 一 二 三 手

中心

約

〔筆順〕

么 糸 糸 約 約

ちゅうしん
中心

て とめる
ん あげる
てん へん

へっつじゅん
一サササ花
⑤⑥
②③④
た
①
へっげん
太
た
た

中心

伝

下の方が長い
《筆順》
ノ イ 仁 仁 伝 伝

中心

束

筆順

一 二 三 四 五 六 七 八 九

2
年

とめる

〈ひつじゅん〉 〈じげん〉

②①③④
匕
匕
匕

ちゅうしん
中心

すこし短く

同じ間かくで

中心

美

〔字形〕

フニ 艹 艹 艹 美

中心

井

縦画が出る

許容

束 止め
はね

許容

止め はね

羊

横画は同じ長さで等間かくに

許容

井
止め 払い

一口井井井井

— 4 —

毛筆参考手本解説(2)

6 年

中学

中心
希
上にそろす
《筆順》
一 ㄥ ㄥ ㄥ 希
《字形》
※筆順に注意

許容 巾の止め
やや右に傾ける

望
《筆順》
・ 亡 亡 亡 望
《字形》

許容 払い
方向 折れ
払い

中心
動
《筆順》
一 ㄥ ㄥ ㄥ 動
《字形》
「力」は少し下げて組み立てる
横画の間かくに注意

集 古今

やさしい行書

次へつながる気持ち
古

集 終筆の変化

納 平家
経 家

糸へんの行書を
書きくらべましょう

糸へんの行書を
書きくらべましょう

不断の
努力

中心
努
《筆順》
く ㄥ ㄥ ㄥ 努
《字形》

許容 出ない
接する
又 又 又 止め

菜の花や
月は東に
日は西に

作者…与謝蕪村
季語…菜の花(春)

訳…一面に続く菜の花畑

東の空からは月が昇り、

西には赤い夕陽が沈んで行く。

書写のポイント

漢字よりひらがなをすこし小さく書く。

行の高さなど構成を工夫してみて下さい。

手本を書かれた先生は長さ3cm位の兼毛筆

(ややかための筆)を8割くらいおろして使
用しました。

ひらがなの字源

(317)

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

源字	字	形
に	仁	に
は	波	は
や	也	や
の	乃	の

※源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

〔3月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 2 年

幼・小 学 1 年

硬 筆 参 考 手 本

解説 辻元大雲先生

支 部 名		声		
		が		草
段・級		ひ		原
		び		を
学 年		き		こ
	二	わ		え
名 前		た		て
	本	っ		、
	多	た		歌
	大	。		
	地			

支 部 名		た		
		の		花
だん・きゅう		し		を
		み		見
がくねん		で		る
	一	す		の
なまえ		。		が
	そ			
	が			
	べ			
	さ			
	き			
	な			

【歌声】
ひつじゅんにちゅういして、正しく書きま
しょう。

声
「はらい」のほうこうにちゅうい
〈ひつじゅん〉
一可可哥哥歌
〈ひつじゅん〉
一十士吉吉声
ほうこうと長をにちゅうい

歌
「はらい」のほうこうにちゅうい
〈ひつじゅん〉
一可可哥哥歌
〈ひつじゅん〉
一十士吉吉声
ほうこうと長をにちゅうい

草
中心
はいるほうこう
長く

【花】
かんじの形をよく見て書きましょう。

見
〈ひつじゅん〉
一〇月日月見
よこせんのかんかくに注意

花
〈ひつじゅん〉
一十サササ花
〈ひつじゅん〉
一十サササ花
よこせんのかんかくに注意

〔3月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 4 年

支 部 名				
段 ・ 級				
学 年	四			
名 前	有田菜月			

い	の	
て	一	「
書	生	伝
か	を	記
れ	事	」
た	実	は
も	に	
の	も	あ
で	と	る
す	づ	人

小 学 3 年

支 部 名				
段 ・ 級				
学 年	三			
名 前	十萬英幸			

学	一	
習	年	
を	間	
生	つ	
か	み	
そ	重	
う	ね	
。	た	

中心
実
八画目の起筆は六画目から書く。

中心
事
長く

記
「(こんべん)の形に気をつけて書きましよう。

『伝記』
漢字の外形を見て、正しく整えて書きましよう。

中心
習
文字の組み立て
だい 大
しょう 小

重
なが
長く

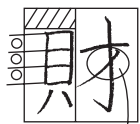
間
たてと横の分間を整えて
〈筆順〉
一 尸 尸 門 門 間

『学習』
「習」の組み立てに気をつけて書きましよう。

〔3月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年

支 部 名		受	大	
		け	切	
段 ・ 級		つ	な	古
		が	心	典
学 年		れ	の	芸
六		て	財	能
名 前		い	産	は
有		く	と	、
働		。	し	人
マ			て	々
リ				の



起筆の位置に注意



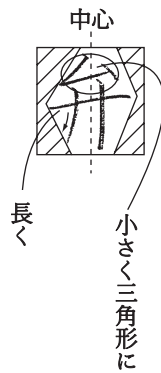
方向
ヒヒ
(許容字体)



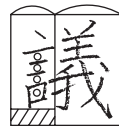
たて、横の分間に注意
それぞれの位置と方向
《筆順》
㇏ ㇏ ㇏ ㇏ ㇏

『古典芸能』
漢字の外形を見て、形を整えましょう。

小学 5 年

[illegible]

中心
方向に注意
下に出る



戈（ほこづくり）の形と
画の長短に注意。

『答弁』
画数の多い字形を整えて書きましょう。

〔3月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生（行 書）

支 部 名	
段 ・ 級	
学 年	中一
名 前	深田 葉子

三月を弥生という。「弥」はますま
 す、「生」は生える、つまり草木がだ
 んだん芽吹く月の意である。

中 学 生（楷 書）

支 部 名	
段 ・ 級	
学 年	中一
名 前	深田 葉子

三月を弥生という。「弥」はますま
 す、「生」は生える、つまり草木がだ
 んだん芽吹く月の意である。

『弥生』
行がゆがまないように、整えて書きましょう。

中心
芽吹く月の意である。

中心
弥
（筆順）
コ 弓 引 引 引 弥
（払い…許容）

中心
芽
（筆順）
一 ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ 芽
（方向…許容）

・行書のワンポイントアドバイス

ㄥ（くさかんむり）の行書

ㄥ

点画や字形が曲線的

弓 吹

※行書にあわせて、ひらがなをやや丸味をもたせる。

これからの作品締切日と課題

4月号の作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)	小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
桜吹雪	信念	進む	自然	林道	三人	ふね	4月8日	4月
しづこ るなく	単刀直入	健康	実力	歩み	土木	つくえ		

4月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

く	あ
ろ	か
い	い
く	か
つ	さ

小 2

ト	赤
が	い
あ	ゆ
り	う
ま	び
す。	ん
	ポ
	ス

小 3

百	新
キ	かん
ロ	線
で	は
走	時
る。	速
	三

小 4

な	新	四
か	しい	年
ま	い	生
と	教室	に
勉強	で	進
した。	ク	級
	ラス	して
	の	

小 5

を	世	ア
つ	界	ン
く	の	リ
した	赤	・
人	十字	デュ
です。	設立	ナン
	に	は
	力	

小 6

り	い	つ
と	大	ば
羽	き	さ
ば	な	の
たい	鳥	長
いた。	が	い
	ゆ	真
	っ	っ
	く	白

中学生

に	「我	田
する	田	引
こと	水	水
である。	とは	我
	が	田
	に	水
	を	引
	く。	転
	じて、	自
	分の	都
	都合	の
	の	よ
	い	よう

書道芸術（高校生以上の方対象） 雑誌のご案内

書道芸術学生版の雑誌は中学校3年生までの競書雑誌になりますが、高校1年生からは、書道芸術（高校生以上の方対象）の競書雑誌があります。高校生になってからも、書道を続けたい中学生3年生の方はぜひご参考ください。
見本誌もお送りすることができますので、興味を持った方は書道芸術院までお問い合わせください。



公益財団法人 書道芸術院

〒101-0031

東京都千代田区東神田1-16-7
東神田プラザビル3階

TEL: 03-3862-1954

FAX: 03-3862-1957

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部児童教育学科教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「明解・書写教育」などがあります。

第12回 「水書用筆」の登場3 —新・小学校学習指導要領—

今回の改訂で、小学校一・二年生の書写の授業に今までの硬筆にプラスして「水書用筆等」を使用した運筆指導を取り入れるなど、早い段階から硬筆書写の能力を高めるための関連的な指導を工夫することが望ましい。」（『小学校学習指導要領解説』）というように新たに「水書用筆」を導入した授業が展開されることとなります。

これに先立ち、全書研特別研究委員会小学校部会の研究チームが実際に東京都内四校の小学校で「水書ペン」と「水書用紙」を用いて授業を実施した小学一年生の児童の反応を次に紹介します。

1、「楽しかった」「また、やりたい」と答える児童がいずれも9割を超えた。

2、「持ち方を気にするようになった。」「とめ・はね・はらいのやりかたが分かった。」という指導効果が最も表れた。とくに力の入れ方（筆圧のコントロール）を意識する児童が第一学年で約90%と高い数値となった。

3、墨のように筆跡が残らず、乾くと消えてしまうことが難点と考えていたが、その逆で「消えるのが楽しい」という児童も存在するのには驚いた。

次に、この授業を担当してくださった教員の方々の感想を記します。

1、とめ・はね・はらいの筆使いがはっきりとするので指導に有効であった。

2、「魔法の紙」（水書用紙）は、時間がたつと消えてしまうので失敗が残らず楽しく感じている様子である。他の教科の時間に比べ、書写の時間は文字を丁寧に書くようになった。

3、課題を追及する学習なので練習時間の私語がなくなった。

4、水書ペンを使用したことで、「始筆」「終筆」を意識する児童が増えた。

5、鉛筆では、筆圧で文字の濃さに違いが出るが、水書ペンでは、文字の点画の形や太さに違いが出ることを体感させることができた。

6、硬筆で評価されることが少なかった児童の中に水書ペンでは、「めあて」を達成できた児童がいた。その児童を認め、ほめることを通して意欲的に書写学習に取り組ませることができた。

ここでは「水書ペン」を用いましたが、解説に「水書用筆等」と示されたことから、新しい毛筆に水をつけて書いてみるでもいいわけです。さらに水書用筆の効果的な使用方法と実際の授業での扱い方について述べようと思います。

（つづく）

今 月 の ホ ー プ



のびのびと元気よく書けてます。点画もきちんとていねいで、名前もしっかりして充実した作品です。



紙面いっぱい、元気に書いた素晴らしい作品です。とめ・はね・はらいがしっかりしてこれからが楽しみです。

小一 岡本 葵 (福山塾)

支部名	淳香
段・級	準特待
学 年	中二
氏 名	渡辺莉依愛

力感ある線で自信に満ち、最後まで細心の注意をはらい見事にまとめました。名前もすばらしいです。

中二 渡辺 莉依愛 (淳香支部)

支部名	若葉会青森
段・級	五上
学 年	五
氏 名	田村望桜

漢字、かなの調和が美しく自然な書き方が見事です。一点一画丁寧に書かれ、すっきりと明るい作品になりました。

小五 田村望桜 (若葉会)

96

今月は小学3年毛筆課題「花だん」・小学4年毛筆課題「美しい花」・小学6年毛筆課題「希望の花」・中学毛筆課題「菜の花や…」・小学1年硬筆課題から「花」を取り上げます。「花」は小学1年生で学習する漢字です。

花

音おん

力

訓

はな

部首

++ (くさかんむり) の部

画数かくすう

7
画

筆順

一
十
廿
卅
卌
花
花

なりたち
 ㄱ(草)と化(すがたがかわる)とを合わせた字。草木のうち、つぼみ↓咲く↓散る、というように、すがたがかわっていくはなを表す。

意味

①草木のはな

②はなのような形をしたもの

③はなのように美しいもの

使い分け

「花・華」のちがい

どちらも「はな」と読むので注意

・花Ⅱ草や木にさくはな。また、美しいもののたとえ。

・華々さかえること。また、花のように美しいもののたとえ。

(小学館 例解学習漢字辞典より)

解説 かいせつ

花は書写の課題としてたくさん取り上げられる文字です。
払い・はね・まがりなどに注意して書いて下さい。

編集余錄

○第69回全国学生書道展の成績表（上位入賞）を掲載させていただきました。小誌を購読していただいている団体や個人の方が多く載っていました。

来年は70回の記念展になりますので、今年
出品出来なかった団体や個人の皆さんの参加
をぜひお願いします。競書誌の団体でなくとも
10点集まれば団体登録できますので、保護者
の方が代表でも大丈夫です。不明の点があり
ましたら、事務所へお問い合わせください。

○ 中学^{ちゅうがく}3年生^{さんねんせい}で書道^{しやうどう}を続^{つづ}けたいと思^{おも}っている
皆さん^{みな}に「書道芸^{しやうどうげい}術^{じゆつ}」(高^{こう}校^{こう}生^{せい}以^い上^{じやう}の方^{かた}対^{たい}象^{しやう})
誌^しを紹^{しょう}介^{かい}し^します。この競^{きやう}書^{しよ}雜^ざ誌^しは個^こ人^{じん}でもで
き^します。興^{きやう}味^みを持^もつた方^{かた}は見^み本^{ほん}誌^しを送^{おく}ります
ので、事^じ務^む所^{しよ}までお問^とい合^あわせ^せく^くだ^ださい。

（豪峰）
ごうほう